

THE ZOMBIE BOOK

—  ART OF SELF DEFENSE —



THE ZOMBIE BOOK

ART OF SELF DEFENSE

生き延びるためには、
まずは相手を知らなければならない。

Contents

はじめに	1	#4 籠城	9
#1 まずはゾンビを知ること	2	戸建ての場合	9
進化するゾンビ	2	マンションの場合	10
黎明期のゾンビの特徴	3	#5 外に出る場合の注意点	11
走るゾンビ	3	携帯はマナーモードにする	11
武器を使うゾンビ	3	時間帯	11
明かりに弱いゾンビ	4	装備	12
餓死しない	4	武器	12
酸素が足りない	4	#6 近寄ってはいけない場所	13
24時間働ける	5	地下	13
音に敏感である	5	動物園	13
痛みを感じない	5	#7 ゾンビにしてはいけないこと	14
ゾンビウィルスの感染について	6	火をつける	14
特殊な人間	6	同情する	14
#2 ゾンビが発生したら	7	#8 生き残るために	15
とにかく逃げる	7	最後まであきらめない	15
#3 とるべき行動	8		
情報を集める	8		
人のいないところに行く	8		

はじめに

このドキュメントは、ゾンビからどうやって自分の身を守ればよいかを具体的に書いたものだ。ゾンビの発生が危惧されている今日、ぜひこのゾンビブックを読んでゾンビの発生に備えてほしい。このゾンビブックを読んだあなたの生存確率は飛躍的に高まるだろう。

このドキュメントが一人でも多くの生存者のためになると幸いである。

#1 まずはゾンビを知ること

“彼を知り己を知れば百戦殆からず”という孫子の格言がある。敵の実力や現状をしっかりと把握し、自分自身のことをよくわきまえて戦えば、なんと戦っても、勝つことができる という意味だ。このドキュメントを読んでいる賢明な読者は自分のことは百も承知であろう。

しかし、ゾンビについての知見を持っている読者はそう多くないであろう。ここでは、ゾンビについて解説を行いたいと思う。まずは、相手を知ることが重要であるということは、いまさら説明することでもないであろう。

進化するゾンビ

ゾンビ研究の黎明期、ゾンビは頭が悪く動きが遅いものと思われていた。しかし、研究が進むにつれてそうではないゾンビが存在するということが明らかになってきた。ゾンビは進化しているのだ。

黎明期のゾンビの特徴

黎明期のゾンビの特徴を説明する。

• 頭が悪い

とにかく頭が悪く、猿以下である。猿に遊ばれているゾンビの目撃談が報告されている。

• 動きが遅い

運動能力が乏しく歩くことしかできない。歩くことも面倒になったのか、ずっと寝ていて通りかかった人間にしか襲いかからないやる気のないゾンビもいる。

走るゾンビ

走るゾンビが近年、増加傾向にあるようだ。人間を見つけると走っておいかけてくるゾンビがいる。走るスピードは速く、生身の人間と変わらない。中には人間より速い速度で走るゾンビもいるとのこと。歩くだけでは人間を襲うことができず、その問題を解決するために進化したと考えられる。

武器を使うゾンビ

武器を使うゾンビの目撃談が寄せられている。好んで使う武器は、チェーンソーや斧。扱いに慣れていないのか、自分の腕を切り落として武器が持てなくなってしまう間抜けなゾンビもいるとか。

明かりに弱いゾンビ

明かりに弱いゾンビが存在する。太陽や強い光をあびると、目の粘膜や皮膚が炎症を起こすようだ。身体能力の高いゾンビに比較的多い。明かりに弱いゾンビは、夜や暗いところで活動する。

餓死しない

ゾンビは餓死しない。生命活動が停止しているのでエネルギーを補給する必要がないのだ。身体を動かすにはカロリーを消費するのでそのエネルギーの補給が必要だと思われていたが、ゾンビウィルスが何らかの方法でエネルギー供給をしているらしく、外部からのエネルギーは必要ない。

酸素がいらぬ

生命活動が停止しているので酸素も不要だ。よって、水の中でも活動が可能だ。月面をムーンウォークしているゾンビが目撃されたとか、されていないとか。

24時間働ける

ゾンビは眠らなくても平気である。時間の感覚が失われており、24時間活動することができる。しかし、24時間活動しているゾンビは稀であり、大半はぼーっとしている。

音に敏感である

ゾンビは音に敏感である。静かにしていると、気づかずに素通りしていくゾンビも多い。まともに前を見ていないゾンビが多いと思われる。

嗅覚も鈍感である。ゾンビは腐敗が進んでおり、自分の臭いがきつく嗅覚が使い物にならないのであろう。しかし、聴力はしっかりしており、物音には敏感に反応する。

痛みを感じない

ゾンビは痛みをほとんど感じない。脳を破壊することでゾンビの行動を停止させることができる。

ゾンビウィルスの感染について

ゾンビに噛まれることでゾンビウィルスに感染する。ゾンビウィルスは唾液に含まれており、噛むことで体内に侵入する。ゾンビウィルスが体内に侵入すると増殖しながら脳を目指すことが研究により報告されている。ゾンビウィルスは感染力が強く、感染すると99%の確率で発症し、大抵の場合、24時間以内に発症する。

現在、ゾンビウィルスに有効なワクチンは発表されていないが、日夜、世界中のゾンビ研究者により研究が行われている。

特殊な人間

稀にゾンビウィルスに抗体を持っている人間がおり、その人間はゾンビウィルスに感染しても発症しない。

極めて稀にゾンビウィルスの影響で特別な能力を身につける人間がいるようだ。超能力を使ったり、驚異的な再生能力を持つ人間の事例が報告されている。通常、脳は身体を守るために人間の身体能力を制限しているが、ゾンビウィルスがこのリミッターを外していると考えられている。脳の活動についても同様である。脳が覚醒したらどうなるかは、映画LUCYを参照するとよいだろう。

しかし、あなたがゾンビウィルスに抗体を持っている可能性は限りなく低いので試すことはおすすめしない。

#2 ゾンビが発生したら

とにかく逃げる

ゾンビが発生したら、逃げるのが最良の選択だ。一般人ができることは、ひたすらゾンビから逃げ、生き延びることだ。時間が経ち、ゾンビが消滅するか、何かしらの組織がゾンビを撃退するのを待つしかない。

#3 とるべき行動

情報を集める

情報を常に集めておかなければいけない。ラジオやインターネットが役に立つだろう。安全な場所、危険な場所、食料の情報など、有益な情報が手に入るかもしれない。

人のいないところに行く

人のいないところはその分、ゾンビがいる可能性が低いので、なるべく人がいないところに移動するのが安全だ。

おすすめは島だ。島は海によって隔離されており、ゾンビがいる可能性は低い。

#4 籠城

戸建ての場合

戸建てに住んでいる場合、籠城をするのが得策である。ドアや窓に鍵をかけ、カーテンと雨戸を全て閉めること。ゾンビは光や音を察知するので、なるべく光や音を外に漏らさないことが肝心である。

籠城は2階で可能な限り長期間に渡って行う。数ヶ月、数年になることを覚悟しておかねばならない。長期間の籠城に備えて、家にある全ての食料を2階に運ぶ必要がある。

籠城に必要な物資を運び終えたら、階段を壊すこと。この作業を行うかどうかで、生存の確率が大きく変わってくる。通常のゾンビには、はしごを登ったりするほどの知能はないので、階段を壊しておけば2階の安全は確保される。ここで大事な点は、階段を壊すときに火を使ってはならないことだ。うまいこと階段だけ焼き払おうとしても、大抵の場合うまくいかず、家自体が全焼してしまうだろう。

マンションの場合

マンションには留まらないことを推奨する。人が多い分、ゾンビが発生する確率が高い。また、非常時のためにベランダが繋がっていることが多いので、そこからゾンビが侵入してくる可能性がある。

ただし、ゾンビが付近にたくさんいる場合や子供、老人がいて、移動が難しい場合は無理に移動しないほうがよいだろう。その場合は、ベランダにバリケードを築いてゾンビが侵入できないようにするとよいだろう。

#5 外に出る場合の注意点

食料の調達や移動などで外に出なければいけないことがあるだろう。そのときに注意すべき点をあげる。

携帯はマナーモードにする

音がなってしまうとゾンビに気づかれてしまう危険性がある。必ずマナーモードにしておくこと。

時間帯

外に出るのは昼間がよい。ゾンビは光と音に反応する。夜は大抵の場合、照明を使わないといけないうだろう。その照明にゾンビが反応して襲ってくる可能性がある。

また、見通しが悪いと、物陰に潜んでいるゾンビに気づかず、噛まれてしまう可能性がある。ゾンビは眠らないので、夜に行動するのは得策でないどころか、危険が増すだけである。

装備

腕と足にはプロテクターをつけること。ゾンビに襲われた際、最も噛まれる可能性のある場所は腕と足である。プロテクターは雑誌をガムテープで固定するくらいの簡素なものでも十分な効果がある。

武器

ゾンビと戦うことは最終手段だが、避けられないこともあるだろう。そのときに役立つ武器を紹介する。

• 金属バット

リーチが長い、攻撃力が高い、壊れにくいと3拍子揃った武器。

• 木刀

リーチが長く、攻撃力が高い。ただし、壊れやすいので気をつけること。

• 小麦粉

ゾンビの目にかける。うまくかかれば、ゾンビの視力を一時的に無くすことができ、ゾンビから逃げるのに役立つだろう。

• ナイフ、包丁

リーチが短く、痛みを感じないゾンビにはあまり効果がない。よほどのプロフェッショナルでないと武器として使いこなすことは困難である。

#6 近寄ってはいけない場所

地下

地下には絶対に行ってはいけない。ゾンビは登るのは得意ではないので、必然的に下に溜まっていく傾向にある。階段を落ちたゾンビは下に溜まっていく。地下道でゾンビと遭遇する可能性は極めて高い。

動物園

ゾンビウイルスは動物にも感染する。典型的なのは犬だ。大型犬がゾンビ化すると、俊敏性の高いやっかい極まりないゾンビになってしまう。

さらに大型の動物、例えば、ライオンや虎、熊がゾンビ化してしまうと、もう手に負えない。ロケットランチャーやマシンガンでもない限り撃退するのは無理だろう。遭遇してしまった場合、ほとんど助かる見込みはない。

#7 ゾンビにしてはいけないこと

火をつける

ゾンビに火をつけてはいけない。ゾンビは痛みを感じないので、火をつけてもしばらくは動くことができる。ゾンビについての火で大変な火傷をおってしまったり、物に引火して火事になる可能性がある。火のついたゾンビが暴れると手に負えないことになってしまう。

同情する

ゾンビに同情してはいけない。たとえそれがあなたの愛する者だったとしても、ゾンビになってしまったら、理性的な機能は失われてしまう。死んだものと思って対処するしかない。

#8 生き残るために

最後まであきらめない

生き残るために必要なことが3つある。ゾンビに対しての知識をつけること、準備を整えること。しかし、何よりも大事なのは最後まであきらめず、生き抜くという気持ちだ。

ゾンビウイルスにも寿命があるということが研究により明らかになってきている。ゾンビウイルスが死に絶えるか、人類が死に絶えるか。最後まで生き残ったほうが勝者である。

どうか最後まで諦めず、生き残ってほしい。

本書はフィクションです。本書の内容に基づく行動により本人または第三者に発生したいかなる損害も著者および Balloonbros は一切の責任を負いません。

©Balloonbros.cc Release 2015.10.30 Happy Halloween!